



平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年6月24日

上場会社名 株式会社ダイユーエイト 上場取引所 東
 コード番号 2662 URL http://daiyu8.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅倉 俊一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部長 (氏名) 石黒 隆 (TEL) 024 (545) 2215
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第1四半期の連結業績(平成28年2月21日～平成28年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	12,137	△0.5	378	△3.6	418	5.9	235	1.8
28年2月期第1四半期	12,195	13.7	392	△20.1	394	△21.8	231	△11.2

(注) 包括利益 29年2月期第1四半期 219百万円(△8.2%) 28年2月期第1四半期 238百万円(△4.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	25.47	25.35
28年2月期第1四半期	28.60	28.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第1四半期	33,767	9,266	24.4
28年2月期	33,548	9,169	24.2

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 8,247百万円 28年2月期 8,144百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
29年2月期	—	—	—	—	—
29年2月期(予想)	—	13.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年9月1日に株式移転による共同持株会社を設立する予定です。

これに伴い、当社は平成28年8月29日に東京証券取引所への上場が廃止される予定ですので、期末の配当予想については記載していません。

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年2月21日～平成29年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,200	0.7	950	0.8	970	1.9	570	1.5	61.72
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年9月1日に株式移転による共同持株会社を設立する予定です。

これに伴い、当社は平成28年8月29日に東京証券取引所への上場が廃止される予定ですので、通期の業績予想については記載していません。

なお、株式移転により上場予定のダイユー・リックホールディングス株式会社の平成29年2月期の通期業績予想に関しましては、今後検討し確定次第お知らせいたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期1Q	9,234,000株	28年2月期	9,234,000株
② 期末自己株式数	29年2月期1Q	117株	28年2月期	117株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期1Q	9,233,883株	28年2月期1Q	8,076,941株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年2月21日～平成28年5月20日)におけるわが国の経済は、企業収益、雇用の改善など景気の緩やかな回復基調が見られた一方で、年初より円高株安が進行するとともに、日銀によるマイナス金利政策の実施、熊本地震の発生など国内経済は不安定な状況下で全体として減速感が見られました。また、アジア新興国における成長の鈍化に伴う景気の下振れ懸念など依然として先行き不透明な状況が継続しております。

個人消費につきましては、長期低迷からの脱却には至らず、消費増税来、横ばいで推移している状況であり、消費者の低価格志向は一部で高付加価値、高品質商品を選択する動きが見られるものの、依然として節約志向が強く本格的な個人消費の回復には至っていない状況であります。

このような状況のもと、当社グループは当第1四半期連結累計期間におきまして、新規出店として、ペット専門店「ペットワールドアミーゴ」は一関店(開店3月 岩手県)を開設いたしました。これにより当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、109店舗となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ(当社及び連結子会社)の連結売上高は121億3千7百万円(前年同期比0.4%減)、連結営業利益は3億7千8百万円(同3.6%減)、連結経常利益は4億1千8百万円(同5.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億3千5百万円(同1.8%増)となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

〔ホームセンター事業〕

ホームセンター事業は、営業休止店舗を除く既存店ベースで、客単価が0.5%増加した一方で、客数が前年同期比で2.9%減少したことから、既存店売上高は2.4%減少いたしました。

セグメント売上高につきましては既存店ベースでの商品別販売動向は、例年と比較して気温が高かった期初において用土、肥料等の園芸および植物の売上高が前年に比べて大きく伸長するとともに、木材塗料、サイクル、日用品、ペット関連商品の売上についても好調に推移いたしました。また、4月に入り園芸用品、木材塗料、工具金物部門等のホームニーズ関連商品が前年対比で売上高を牽引する一方、作業資材、エクステリア関連商品の売上高が前年を大きく下回る結果となりました。さらに、ゴールデンウィーク期間中は例年を大きく下回る気温の低下と雨の影響で主力部門である園芸、植物等の売上が大きく計画数値を割り込むとともに、販売数量ベースでは伸長している灯油についても、継続する原油価格下落に伴う販売価格が下落していること、また前年は4月下旬に実施した創立40周年大感謝祭の売上高が好調であったことも前年同期比で当第1四半期連結累計期間における既存店全体の売上高が減少した要因となっております。

セグメント利益につきましては、ホームセンター事業においては異業態も含めた他社との低価格競争といった同質化競争を脱却し、収益率改善を図るためにホームセンターならではの品揃えを一層強化すべく、木材、工具、作業用品、植物、園芸、ガーデニング用品等のホームニーズ商品について商品の「差異化」を推進し、従来の商品と併せて、高付加価値、高品質商材を積極的に投入し従来の商品にない価値を訴求し、売上構成率を高めることで収益率を改善するとともに、ローカルチェーンとして地域特性商品を充実させる一方で、ライフスタイル提案型の売場を構築することでお客様の暮らしに「新たな価値」を創造できる品揃えの実現に重点的に取り組んで参りました。また、前年比でポイントカード会員様向けの販売促進費が減少しましたが、売上高の減少分を吸収しきれずにセグメント利益についても前年同期比で減少しております。

これらの結果、ホームセンター事業における売上高は82億6千5百万円(前年同期比1.0%減)、セグメント利益(営業利益)は5億2千6百万円(同1.6%減)となりました。

〔不動産事業〕

不動産事業における売上高は2億2百万円(前年同期比3.3%増)、セグメント利益(営業利益)は8千7百万円(同5.9%増)となりました。

なお、近隣型ショッピングセンター「エイトタウン」は、当第1四半期連結会計期間末において計6箇所あります。

〔子会社小売事業〕

子会社小売事業における売上高は15億6千6百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益(営業利益)は5百万円(同81.9%減)となりました。

〔その他〕

当事業における売上高は、「ペットワールドアミーゴ」を展開するペットショップ事業及び「ワンズサイクル」を展開する自転車専門店事業により24億8千4百万円(前年同期比0.7%減)、セグメント利益(営業利益)は5千4百万円(同155.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億1千8百万円増加し、337億6千7百万円となりました。この主な要因は、新規出店に伴うたな卸資産の増加等であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億2千2百万円増加し、245億1百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少、電子記録債務の増加、短期借入金の増加、1年内返済予定の長期借入金の減少、未払法人税等の減少、長期借入金の減少等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ9千6百万円増加し、92億6千6百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、平成28年3月31日付「平成28年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました業績予想値に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

(有形固定資産の減価償却の方法)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,100,592	2,410,342
売掛金	386,320	492,919
たな卸資産	9,239,308	9,913,049
その他	723,561	616,165
流動資産合計	13,449,782	13,432,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,582,171	22,628,247
減価償却累計額	△12,647,927	△12,810,745
建物及び構築物(純額)	9,934,243	9,817,501
土地	2,392,666	2,392,666
リース資産	1,783,573	1,904,443
減価償却累計額	△679,742	△743,331
リース資産(純額)	1,103,830	1,161,111
その他	940,859	1,337,910
減価償却累計額	△546,312	△548,998
その他(純額)	394,547	788,912
有形固定資産合計	13,825,288	14,160,191
無形固定資産		
その他	1,469,220	1,465,460
無形固定資産合計	1,469,220	1,465,460
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,010,475	3,001,628
その他	1,798,293	1,712,269
貸倒引当金	△4,750	△4,750
投資その他の資産合計	4,804,018	4,709,148
固定資産合計	20,098,526	20,334,799
資産合計	33,548,309	33,767,276

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,918,024	3,535,952
電子記録債務	3,318,246	3,745,148
短期借入金	1,400,000	3,175,000
1年内返済予定の長期借入金	1,933,892	1,805,632
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
リース債務	367,220	378,664
未払法人税等	365,903	174,456
その他	2,648,394	2,672,658
流動負債合計	14,966,681	15,502,513
固定負債		
長期借入金	6,364,397	5,935,229
リース債務	902,161	950,691
退職給付に係る負債	390,587	400,085
役員退職慰労引当金	66,475	66,760
長期預り保証金	999,760	988,095
資産除去債務	176,285	178,817
その他	512,016	479,004
固定負債合計	9,411,683	8,998,684
負債合計	24,378,364	24,501,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,871,140	1,871,140
資本剰余金	1,792,649	1,792,649
利益剰余金	4,381,291	4,496,528
自己株式	△74	△74
株主資本合計	8,045,006	8,160,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126,756	112,825
繰延ヘッジ損益	△28	-
退職給付に係る調整累計額	△27,144	△25,508
その他の包括利益累計額合計	99,584	87,316
新株予約権	27,723	27,723
非支配株主持分	997,631	990,795
純資産合計	9,169,944	9,266,079
負債純資産合計	33,548,309	33,767,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月21日 至平成27年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年2月21日 至平成28年5月20日)
売上高	12,195,633	12,137,667
売上原価	8,561,857	8,502,361
売上総利益	3,633,776	3,635,305
販売費及び一般管理費	3,241,138	3,256,860
営業利益	392,637	378,445
営業外収益		
受取利息	5,746	5,376
受取配当金	240	-
受取手数料	39,258	44,779
その他	29,199	35,502
営業外収益合計	74,444	85,657
営業外費用		
支払利息	33,521	28,728
借入手数料	11,493	9,662
その他	27,401	7,659
営業外費用合計	72,416	46,050
経常利益	394,665	418,052
特別利益		
国庫補助金	13,895	-
受取損害賠償金	110,042	-
受取保険金	-	2,079
特別利益合計	123,937	2,079
特別損失		
固定資産除却損	1,733	77
固定資産圧縮損	13,895	-
賃貸借契約解約損	42,440	-
減損損失	1,444	3,326
特別損失合計	59,512	3,403
税金等調整前四半期純利益	459,090	416,728
法人税、住民税及び事業税	191,275	164,604
法人税等調整額	33,911	21,147
法人税等合計	225,187	185,752
四半期純利益	233,903	230,976
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,868	△4,301
親会社株主に帰属する四半期純利益	231,035	235,277

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月21日 至平成27年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年2月21日 至平成28年5月20日)
四半期純利益	233,903	230,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,797	△13,402
退職給付に係る調整額	2,136	1,635
繰延ヘッジ損益	124	28
その他の包括利益合計	5,058	△11,738
四半期包括利益	238,961	219,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	235,612	223,010
非支配株主に係る四半期包括利益	3,349	△3,772

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年2月21日 至 平成27年5月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホーム センター事業	不動産事業	子会社 小売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,349,592	195,526	1,587,318	10,132,437	2,063,195	12,195,633
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	438,970	438,970
計	8,349,592	195,526	1,587,318	10,132,437	2,502,165	12,634,603
セグメント利益	535,404	82,461	31,342	649,208	21,389	670,597

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサプライ事業、自転車専門店事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	649,208
「その他」の区分の利益	21,389
セグメント間取引消去	△5,092
全社費用(注)	△272,867
四半期連結損益計算書の営業利益	392,637

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年2月21日 至 平成28年5月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホーム センター事業	不動産事業	子会社 小売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,265,021	202,082	1,566,684	10,033,789	2,103,878	12,137,667
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	380,694	380,694
計	8,265,021	202,082	1,566,684	10,033,789	2,484,572	12,518,361
セグメント利益	526,562	87,388	5,662	619,614	54,617	674,232

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサプライ事業、自転車専門店事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	619,614
「その他」の区分の利益	54,617
セグメント間取引消去	△665
全社費用(注)	△295,121
四半期連結損益計算書の営業利益	378,445

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。